

出題分析		
試験時間 90分	配点 文 200点 情-社会 400点	大問数 4題
分量（昨年比較）〔減少〕 同程度 増加〕		難易度変化(昨年比較)〔易化〕 同程度 難化〕
<p>【概評】</p> <p>大問4題構成で、うち1題に大論述の大問を含むのは例年通り。大論述以外の問題の論述量・短答記述の分量は昨年並みであったが、大論述の字数が昨年の450字から350字に減少したため、全体として見ると昨年よりやや減少した。名古屋大学の世界史は、中国史や古代地中海史で難問が出題されるという傾向があったが、昨年と同様比較的組みやすい問題が出題された。例年出題されていた西洋史の史料問題は出題されなかった。</p>		

設問別講評			
問題	出題分野・テーマ	設問内容・解答のポイント	難易度
I	近代中国史	歴史総合を意識した問題と思われ、日本史との共通問題であった。手塚治虫の漫画『一輝まんだら』の一ページが引用され、近代中国の政治改革を論述することが求められた。問題からは、どの時期まで論述すればいいかは分かりづらいが辛亥革命までは記述したい。指定語句の他には、洋務運動、戊戌の変法、光緒新政などの諸改革とその帰結については触れたい。指定語句の植民地の使い方にやや困るが、解答例の他には、列強の進出によって半植民地化されたというように使用してもいいだろう。その他太平天国の乱、義和団戦争の推移、清滅亡後の新文化運動などについて、出来得るかぎり記述しよう。	標準
II	ローマ帝国とキリスト教	問1、語句記述はどれも易しい。問2、カエサルが独裁志向を強めると、王政出現を懸念した元老院保守派との間に亀裂が入った。問4、やや答えづらいが難しく考えずに解答したい。問5、問題文に4世紀初頭とあるのでディオクレティアヌスを明示する。一神教のため皇帝崇拝を拒否したキリスト教徒は反社会的集団とみなされた。問6は「現在の都市名」とあるので、コンスタンティノープルと答えないようにしよう。	やや易

設問別講評			
III	中国三大仏教石窟	問4, 80字も何を書くか迷うだろうが, 武帝が張騫を大月氏に派遣したことと, その目的等に触れていけば良いだろう。問7, マニが生まれた時代と地域が問われた。マニは末期のパルティア生まれだが, 受験生は知らないだろう。マニ教を受け入れた騎馬遊牧民とはウイグルのこと。	やや易
IV	中世ヨーロッパ	問2, エグバートは, 近年の教科書には記述がなく難しい。問3のユグ=カペーの即位年も細かい。問7, イギリスの二院制議会については, 上院と下院に分かれていたこと, 上院は貴族や聖職者, 下院は都市の代表や騎士が地主化したジェントリから構成されていたこと, また法律制定や新課税は下院の承認を必要としていたことを述べれば良い。フランス三部会については, 聖職者, 貴族, 平民による議会であることに触れられれば良いだろう。	標準

合格のための学習法

特定の時代・地域での奇想天外な出題が多い名古屋大だが, 過去問を解く中でそのような問題ができなくても気にしすぎないこと。ただ, 近年は解きやすい問題も増えており, 経緯や内容などを説明する問題も含めて的確な解答ができるよう, 基本的な知識をもらさない学習が必要である。大論述問題も年度によって傾向のばらつきがあるが, 基礎知識を固めたうえで, 名古屋大の過去問や, 300字論述を課す京大の過去問にも取り組むなどして, 数をこなしていくのが良いだろう。日本史との共通問題の形式が続くのであれば, 特に日本史と係わる部分や歴史総合を重点的に学習したい。ひねりの効いた問い方をする論述問題の対策としては, 大阪大学や千葉大学の過去問も参考になるので, 余力があれば解いてみるのもよい。